

編 集 後 記

昭和52年も余すところ1ヵ月許りで終了しようとしております。11月も末というのに無気味のような温かさで、気温は平年よりも10°くらい高いようです。

今、毎日の新聞を賑わしていることは、とどまるところを知らない円高の動きで、今日はすでに240円を割ったということです。私達には余りピンと来ませんが、経済界では相当地に深刻になっているようです。

11月7日から1週間東京のUSトレードセンターでアメリカのリハビリテーション機器の展示会が開かれ、同時にセミナーが行われました。日米相互間の情報交換と日米協力による使用成績調査の提案が先方から出されました。何かちょっと風向きが変ってきたように感じられたのは私の思い過ごしでしょうか。

さて今回は第5巻の最終号を飾る意味で、「リハビリテーション医学の基礎」を特集した特大号といたしました。新しい企画ですので最初の段階ではいささか心配もありました

が、出来上ってみますと極めて充実したものとなり、ことに大部分の執筆者がリハビリテーション畑の方々であったことは、基礎学の研究がリハビリテーション医の中にかくも深く浸透したことを示すものとして、大いに意を強くした次第です。本号が刺激となって、リハビリテーション医学の中で基礎の研究者の層がますます厚くなってゆくことを祈ります。

昭和52年もリハビリテーションの世界では割合に平穏無事に流れたように思います。「総合リハ」も本号をもって5年目を終了することになり、今さらにその成長振りに驚いています。

編集者一同ますます固いチームワークのもとに、来年こそは、と大いに張切っております。

では読者の皆様、よい新年をお迎え下さい。

(土屋弘吉)

次 号 予 告 (第6巻第1号)

特集 膝とリハビリテーション

膝の構造と運動学……………徳島県立中央病院 新 野 徳
膝の機能障害の日常生活動作に及ぼす影響……………帝京大 岩 倉 博 光・他
膝の理学的、レ線的検査……………川崎医大病院 那 須 享 二・他
変形性膝関節症の病態

一屍体膝関節面の肉眼的変化……………三輪整形外科 三 輪 泰 彦
膝障害に対する機能訓練

一とくに大腿四頭筋力増強について……………横浜市大 腰 野 富 久

巻 頭 言 職業リハビリテーション……………岡山山 児 玉 俊 夫
講 座 筋・神経系の電気診断 (1)

一筋・神経系電気診断学の歴史……………長崎大 鈴 木 良 平

研究と報告 Dantrolene Sodium の臨床的使用経験

一最小有効投与量を中心として……………横浜市大 大 川 嗣 雄・他

二分脊椎児における股関節変形……………こども医療センター 佐 藤 功・他

頸部の関節可動域測定法について……………熊本大 渡 辺 英 夫・他

Recommended Readings 呼吸器……………国療東京病院 古 賀 良 平

一頁講座 関節 (1) 一関節の発生学……………自治医大 間 藤 方 雄

編集顧問

天 児 民 和
大 島 良 雄
小 池 文 英
砂 原 茂 一
津 山 直 一
水 野 祥 太 郎

編集委員

明 石 謙
上 田 敏
大 井 淑 雄
大 川 嗣 雄
荻 島 秀 男
土 屋 弘 吉
横 山 巖

編集同人

赤 津 隆
今 田 拓
今 村 哲 夫
江 口 寿 榮 夫
小 野 啓 郎
河 邨 文 一 郎
五 味 重 春
沢 村 誠 志
杉 山 尚
武 智 秀 夫
永 井 昌 夫
中 村 隆 一
野 島 元 雄
間 得 之
長 谷 川 恒 雄
橋 倉 一 裕
平 方 義 信
福 井 冨 彦
三 島 博 信
渡 辺 英 夫
飯 田 卯 之 吉
遠 藤 千 恵 子
小 川 孟
加 藤 一 郎
小 島 蓉 子
笹 沼 澄 子
鈴 木 明 子
高 田 玲 子
陳 慧 玉
土 屋 和 夫
松 村 秩

(以上五十音順、敬称略)

(石原、細田、鹿島)